

1956

- 8月 二科展激励会 「喫茶ばんじろ」にて桜井とオチの歴史的な出会い。
- 9月 第41回二科展/東京都美術館 (寺田、桜井、斉藤、米倉)
第12回福岡県展/岩田屋ホール (舟木、大神、讃井、田部、谷口、木下)
- 11月 ペルソナ展/福岡県庁西通り壁面 (石橋、黒木、オチ、桜井、俣野) による九州派メンバーが初めて行なった自主的展覧会



第7回西日本美術展/玉屋(木下「汚れた空気」<西日本新聞社賞>、桜井)

1957

- 2月 第9回読売アンデパンダン展/東京都美術館 (石橋、オチ、桜井)
- 3月 世界今日の美術展/岩田屋ホール アンフォルメル旋風を起こした展覧会の巡回。
- 4月 石橋泰幸・桜井孝身二人展/岩田屋7階社交室
「若い画家の集い」/岩田屋7階社交室 「ペルソナ展」で好評を得た石橋、桜井らがさらに同志を拡大しようと意図した。
- 5月 喫茶「房屋」にて各自作品をもちより、西日本美術展出品を決める
- 6月 第8回西日本美術展/玉屋 (桜井 <奨励賞>、山内<奨励賞>、尾張、田部、皆島、尾花、木下、川上、磨墨、オチ、石橋、西嶋、讃井、黒木)
- 7月 西日本美術展出品者大会/西日本新聞社 講堂
会合/西日本新聞社会議室 「九州派」結成。別称「Q」。機関誌発行を決める。
- 8月 グループQ18人展/岩田屋7階特設催場 (石橋、川上、菊畑、木下、俣野、尾花、オチ、桜井、磨墨、山内、田部他 -事実上の九州派旗揚げ展。
- 9月 機関誌「九州派1」発行
第42回二科展/東京都美術館 (山内、俣野、桜井、黒木、寺田)
第13回福岡県展/岩田屋ホール (石橋、大神、オチ、小幡、川上、菊畑、桜井、讃井、磨墨、田部、舟木、俣野、皆島、山内他)
- 10月 山内重太郎、磨墨静量二人展/岩田屋7階特設催場
- 11月 第2回九州派街頭展/福岡県庁西側大通り壁面
菊畑茂久馬個展/岩田屋7階特設催場
- 12月 機関誌「九州派2」発行

1958

- 2月 九州派3人展/トキワ画廊、東京(桜井、オチ、山内)
- 3月 第1回西日本洋画新人秀作展/石橋美術館、久留米(山内 <金賞>)
百道海水浴場の海の家「百道家」を借り切って共同制作。
第10回読売アンデパンダン展/東京都美術館(石橋、オチ、小幡、小幡+斎藤、菊畑、木下、斎藤、桜井、山内、「九州派有志」3人 <石橋、オチ、山内>、「九州派 合同」5人 <俣野ほか>)
石橋、オチ、山内による作品「ムシロ・ムシロ」は制作の際にでたゴミ、縄、むしろを使った作品で、出品拒否にあう。
- 4月 第1回九州アンデパンダン展/西日本新聞社講堂(石橋、大神、オチ、小幡、尾花、川上、菊畑、斎藤、桜井、磨墨、田部、寺田、宮崎、山内他)-九州派主催による、無審査自由出品の展覧会。全104点
- 8月 九州派展/銀座画廊、東京(石橋、オチ、小幡、尾張、川上、菊畑、木下、斎藤、桜井、田部、寺田、俣野、森永、山内)
- 9月 第43回二科展/東京都美術館(寺田、桜井、黒木)
第14回福岡県展/岩田屋ホール(石橋、大黒、オチ、小幡、菊畑、斎藤、桜井、磨墨、田部、寺田、舟木、皆島、宮崎、山内他)九州派ほか23人が審査員と審査方法に関する抗議書を出す。
- 11月 第1回九州洋画前衛展/石橋美術館、久留米(皆島、尾花、桜井、寺田、上野)
九州派街頭展/福岡県庁西通り壁面(小幡、菊畑、斎藤、桜井、田部、寺田)
第2回西部女性美術展/岩田屋(中西 <朝日新聞社銀賞一位>、田部 岩田屋賞第1席 大黒 <佳作3席>)
- 12月 九州詩画展/福岡丸善画廊(小幡、菊畑、桜井、田部、寺田、俣野、山内)



1959

- 2月 菊畑茂久馬・寺田健一郎二人展/銀座 画廊、東京
第11回読売アンデパンダン展/東京都美術館 (オチ、石橋、小幡、桜井、舟木他)
- 5月 第2回九州アンデパンダン展/西日本新聞社講堂 全118点出品。
- 7月 機関誌「九州派3」発行
- 8月 桜井孝身個展/南画廊、東京
九州派展/銀座画廊、東京 (石橋、大山、オチ、小幡、尾花、尾張、片江、菊畑、桜井、齊藤、田部、寺田、舟木、宮崎、八柄、山内)



会合/農国会館-席上、公募展出品の是非をめぐる紛争が起こり、二科展への出品を続ける寺田を菊畑が詰問し、寺田は怒って脱退する。

- 9月 第44回二科展/東京都美術館 (大山、川上、寺田<特選>、米倉)
第15回福岡県美術展/岩田屋ホール (大黒、小幡、尾花、川上、菊畑、齊藤、磨墨、寺田、働、皆島、宮崎、山内、米倉<佳作>)
- 11月 グループ西日本発足通知 (川上、斎藤、磨墨、谷口、中西、働正、皆島ほか4名)
磨墨、斎藤はこれによって九州派と離れより純粋に芸術的な方向を目指す。
- 12月 九州派を先鋭化する動きが起こり、オチ、山内、菊畑が桜井を批判し、山内が代表して宣言文をよみあげて脱退、3人で「洞窟派」を結成。

1960

- 2月 第3回西日本洋画新人秀作展/石橋美術館 (田部<金賞>)
- 3月 第12回読売アンデパンダン展/東京都美術館 (石橋、上野、大黒、大山、小幡、尾花、尾張、片江、菊畑、桜井、寺田、田部、谷口、舟木、宮崎)
- 5月 洞窟派展/銀座画廊 (オチ、菊畑、山内)
オチ・オサム個展/サトウ画廊
- 6月 第1回全九州アンデパンダン展/八幡市美術工芸館
- 8月 九州派連鎖個展/銀座画廊 (石橋、尾花、片江、桜井)
- 9月 第16回福岡県美術展/岩田屋ホール (大神、谷口、中西、舟木、米倉<県議会議長賞>)
- 10月 第4回西部女性美術展 (大黒、中西<朝日新聞金賞>、田部<佳作>)

1961

- 3月 第13回読売アンデパンダン展/東京都美術館 (石橋、大黒、大山、尾張、片江、菊畑、桜井、田部、寺田、米倉)
- 4月 現代美術の実験展/国立近代美術館、東京 オチ、菊畑「奴隷系図(貨幣による)」
- 7月 機関誌「九州派 4」発行
- 9月 九州派展/銀座画廊 (石橋、上野、大黒、大山、オチ、小幡、尾花、尾張、片江、菊畑、桜井、谷口、田部、中西、働、宮崎、米倉)
機関誌「九州派 5」発行
- 12月 忘年会で三度目の解散

1962

- 3月 第14回読売アンデパンダン展/東京都美術館 (大黒、オチ、片江、木下、桜井、谷口、田部、皆島、米倉)
- 6月 菊畑茂久馬個展/南画廊 —これ以後彼は九州派には参加していない。
- 7月 九州派展/中屋デパート (大山、桜井、米倉ほか)
尾花成春個展「旅行者のための室内展」/尾花宅、福岡県吉井町
- 10月 機関誌「九州派 6」発行
- 11月 英雄たちの大集会/百道海水浴場 (桜井、小幡、大山、宮崎、働、田部。観衆として尾花)—東京からヨシダ・ヨシエ (美術評論家)、木下、風倉匠、小杉武久、刀根康尚、田中信太郎、糸井貫二が参加。毎日新聞社記者(当時)の田中幸人が観衆として参加。

1963

- 3月 第15回読売アンデパンダン展/東京都美術館 (大黒、木下、田部、桜井、皆島、米倉)
- 10月 九州派展/美目画廊、東京 (石橋、大黒、小幡、尾花、桜井、田部、働、米倉 ほか)
機関誌「九州派 7」発行
- 12月 九州派展/新天会館 (石橋、上野、大黒、大山、オチ、小幡、尾花、尾張、片江、桜井、谷口、田部、働、舟木、皆島、宮崎、米倉)

1964

- 1月 働正による街頭ハプニング/天神交差点
- 3月 米倉徳個展/内科画廊
渡米準備展/天神ビル (大黒、田部)
桜井孝身個展/内科画廊
- 4月 働正個展/内科画廊
- 5月 桜井孝身個展/新天画廊、福岡
- 8月 田部光子個展/夢土画廊、東京

1965

- 2月 九州派小品展/福岡ビル (石橋、大黒、小幡、尾花、田部、働、宮崎、米倉他)
- 3月 桜井渡米
- 7月 大黒愛子個展/櫟画廊
- 8月 九州派展/福岡県文化会館 (石橋、大黒、大山、オチ、小幡、尾花、尾張、谷口、田部宮崎、米倉) -最後の九州派展。

1966

- 3月 オチ渡米
- 10月 尾花、穴見清 2人展/喫茶「渦」、福岡県田主丸町
- 12月 否定 Title-Negative 展/コンニャク私立美術館、サンフランシスコ (桜井ほか)-サンフランシスコ九州派の第1回展。
宮崎準之助個展/スルガ台画廊、東京



桜井 左 オチ 右

1967

- 2月 第1回九州・現代美術の動向展/福岡県文化会館 (大山、谷口、寺田、舟木、働、宮崎、山内、八柄、米倉)-菊畑と西日本新聞記者谷口治達、フクニチ新聞記者深野治の企画により 20人の作家を選抜して開かれたもの。「九州派」の名前は登場しない。
- 6月 九州派展/東京ギャラリー、サンフランシスコ (石橋、オチ、桜井、田部他)
- 10月 桜井帰国

1968

- 5月 機関誌「九州派 8」発行 (最終号)
桜井孝身個展/福岡県文化会館
グループ連合による芸術の可能性展/福岡県文化会館 —深野治の企画。九州派が「九州派」の名で展覧会に参加した最後のものとなる。

1988

9月 九州派展一反芸術プロジェクト/福岡市美術館 一初の九州派回顧展。綿密な作品調査が行われ、現存する約100点の作品が展示された。

2015

10月 九州派展一福岡市美術館 一「福岡市美術館叢書6九州派大全」を企画編集し、公益財団法人福岡市文化芸術振興財団より発刊。

2020

10月 九州派展一異才を放つ九州派～それから 博多阪急/福岡

2021

10月 九州派展一異才を放つ九州派～それから 博多阪急/福岡

12月 九州派東京地方突如来演 2021+その系譜を引き継ぐ者たち 画廊香月/東京

2022

6月 桜井孝身がつくった九州派、その系譜を受け継ぐ者たち Gallery MORYTA/福岡

7月 桜井孝身の哲学「奇跡の前衛美術集団 九州派」を読み解く作品集制作プロジェクト

10月 九州派をつくったもの、九州派から生まれたもの 桜井孝身・櫻井共和展
銀座 蔦屋書店 GINZA ATRIUM/東京

2024

8月 ART FORMOSA にて「九州派」展・特別講演 Eslite hotel/台湾・台北



「駆け抜けた前衛—九州派とその時代」田代俊一郎
福岡市美術館叢書6九州派大全
宮崎準之助 福岡県立美術館
一部参照